

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○雇用支援の充実

労働環境対策事業

【 産業振興課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 勤労者福祉

施策の方針 雇用支援の充実

【 事業の目的 】

対象 勤労者等

意図 勤労者の労働環境の向上を図るため。

効果 基礎資料を得るとともに労働問題への啓発を図り、労働団体への補助金の交付を通して勤労者の福利厚生の実現を図りながら、雇用対策の実現を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 労働動態調査、地区労働団体との協議、補助金の交付を行った。
- ・ 雇用対策事業を実施し、雇用促進を図った。
- ・ 求職者向け就業支援事業を行った。
- ・ 労政全般に係る庶務的業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,525	4,525	4,345		180
主な支出内訳				
1節	事務補助嘱託員報酬 2人			2,056
9節	事務補助嘱託員費用弁償			47
11節	消耗品費			75
	燃料費			50
	印刷製本費			50
	車両修繕費			32
12節	雇用対策セミナー等広告料			205
13節	雇用対策セミナー実施業務委託料			249
	就労困難若年者支援業務委託料			216
	求職カウンセリング事業業務委託料			319
	求人情報提供システムサーバ管理業務委託料			378
14節	ファクシミリ等賃借料			45
19節	県駐労福祉センター運営費補助金			33
	労働祭補助金			300
	鎌倉地区勤労者体育大会補助金			150
	三浦半島地域連合活動費補助金			70
	鎌倉地域労働組合総連合文化厚生事業補助金			70

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○働く環境の充実

勤労者福利厚生事業

【 産業振興課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 勤労者福祉

施策の方針 働く環境の充実

【 事業の目的 】

対象 勤労者

意図 勤労者のために融資預託、住宅資金利子補給、その他の支援を行うため。

効果 勤労者の生活環境向上及び福祉の増進

【 事業の内容 】

- ・中央労働金庫から住宅資金融資を受けた労働者に支払利子額(平成22年9月償還開始分まで)の一部を、勤労者退職金共済機構等との新規契約者に掛金の一部を、それぞれ補助した。
- ・福利厚生事業を行う労働団体に補助金を交付した。
- ・市内に居住、勤務している勤労者の生活の安定と福利厚生増進を図るため、勤労者生活資金融資を実施する中央労働金庫に、資金を預託した。

鎌倉市勤労者生活資金融資利用状況

	新規貸出(26.4~27.3)		貸出残高(27.3末現在)	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
生活資金	27	31,420,000	81	58,041,044

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
28,912	28,896	27,689		1,207
主な支出内訳				
19節 住宅資金利子補給金				1,201
中小企業退職金共済掛金補助金				958
三浦半島地域労働者福祉協議会補助金				530
21節 中央労働金庫預託金				25,000

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○働く環境の充実

勤労者福祉支援事業

【 産業振興課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 勤労者福祉

施策の方針 働く環境の充実

【 事業の目的 】

対象 勤労者

意図 湘南勤労者福祉サービスセンターの活動を支援するため。

効果 勤労者の福利厚生の実現

【 事業の内容 】

- ・ 湘南勤労者福祉サービスセンターへ委託し、労働相談等の事業を行った。
- ・ 湘南勤労者福祉サービスセンターへ委託し、講座等の事業を行った。
- ・ 中小企業勤労者の福利厚生の向上を目的として事業を行う湘南勤労者福祉サービスセンターへ負担金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
27,224	27,201	26,213		988
主な支出内訳				
13節	湘南勤労者福祉サービスセンター労働相談等事業委託料			627
	湘南勤労者福祉サービスセンター講座等事業委託料			195
19節	湘南勤労者福祉サービスセンター運営事業費負担金			25,391

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○技能振興の充実

技能振興事業

【

産業振興課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 勤労者福祉

施策の方針 技能振興の充実

【 事業の目的 】

対象 技能職者

意図 技能職者の技術水準の向上や、社会的地位の向上を図るため。

効果 技能振興を図る。

【 事業の内容 】

- ・技能功労者等の表彰、技能祭の共催及び技能職団体連絡協議会の活動を支援することにより、技能振興を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
500	524	435		89

主な支出内訳

1節 技能者表彰選考委員会委員報酬 9人	27
8節 技能者表彰記念品等報償費	85
11節 消耗品費	29
14節 技能者表彰式会場賃借料	24
19節 技能職団体連絡協議会補助金	270

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

市民活動部産業振興課(勤労者福祉担当)

【 職員給与費 】

(単位:千円)

主な支出内訳	
職員給与費	25,623
・ 2節 給料 一般職	11,808
一般職職員 3人	
・ 3節 職員手当等	9,925
扶養手当	523
地域手当	1,815
通勤手当	378
超過勤務手当	783
休日給	0
管理職手当	834
期末勤勉手当	5,051
住居手当	301
児童手当	240
・ 4節 共済費	3,890
市町村職員共済組合負担金	

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 10 会館管理費

◎勤労者福祉 ○働く環境の充実

勤労福祉会館管理運営事業

【 産業振興課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 勤労者福祉

施策の方針 働く環境の充実

【 事業の目的 】

対象 旧レイ・ウエル鎌倉

意図 旧レイ・ウエル鎌倉の管理をするため。

効果 旧レイ・ウエル鎌倉の最低限の維持管理を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 旧レイ・ウエル鎌倉の維持管理を行った。
- ・ 旧レイ・ウエル鎌倉の土地、建物の不動産鑑定を行った。
- ・ 旧レイ・ウエル鎌倉の水道管の撤去を行った。
- ・ 旧レイ・ウエル鎌倉の敷地を縦断する雨水管の切り回し工事を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
219,910	15,086	13,961		1,125
主な支出内訳				
11節 旧レイ・ウエル鎌倉光熱水費				1,006
12節 電信料				161
手数料				109
13節 旧レイ・ウエル鎌倉機械警備業務委託料				499
旧レイ・ウエル鎌倉電気設備点検業務委託料				348
旧レイ・ウエル鎌倉PCB検査業務委託料				142
旧レイ・ウエル鎌倉不動産鑑定業務委託料				195
旧レイ・ウエル鎌倉水道管撤去業務委託料				179
旧レイ・ウエル鎌倉周辺家屋調査業務委託料				0
15節 旧レイ・ウエル鎌倉解体工事請負費				0
旧レイ・ウエル鎌倉雨水管移設工事請負費				7,236
22節 補償金				4,086

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 5 農業委員会費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

農業委員会事務

【 農業委員会事務局 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 農業従事者等

意図 農地法等に基づく農地問題の公正円滑な処理、農地の農業上の利用増進、農業経営の合理化を行うため。

効果 鎌倉市に適した都市農業を目指す。

【 事業の内容 】

- ・ 農業委員会委員報酬の執行、遊休農地解消対策事業の実施など農業委員会に関する事務事業を行った。
- ・ 農地管理システムを運用し、市内農地について農地法に基づく適正な管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,057	9,818	9,613		205
主な支出内訳				
1節 農業委員会委員報酬 16人				6,102
8節 収穫まつり入賞記念品代				5
9節 農業委員費用弁償				63
事務局職員普通旅費				47
10節 農業委員会交際費				0
11節 遊休農地解消対策事業等消耗品費				309
13節 農地管理システム改修業務委託料				1,760
14節 農地管理システム使用料				1,319
19節 農業委員会職員事務研究会会費負担金				8
主な特定財源				
・国県支出金				1,778

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 10 農業水産業総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

市民活動部産業振興課(農水担当)

農業委員会事務局

【 職員給与費 】

(単位:千円)

主な支出内訳

職員給与費	59,720
・ 2節 給料 一般職	28,067
一般職職員 8人	
・ 3節 職員手当等	22,401
扶養手当	894
地域手当	4,064
通勤手当	998
超過勤務手当	2,122
休日給	34
管理職手当	942
期末勤勉手当	11,501
住居手当	1,081
児童手当	765
・ 4節 共済費	9,252
市町村職員共済組合負担金	

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

農業振興運営事業

【 産業振興課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 産業振興
 施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 農業従事者等

意図 農業施策上必要な協議調整や事業を行い、農業経営の安定と農産物の安定供給を図るため。

効果 農業経営の安定と農産物の安定供給

【 事業の内容 】

- ・ 農業者・関係団体・公募市民等から組織する協議会において、鎌倉の農業振興について協議・検討を行った。
- ・ さがみ農業協同組合に鎌倉ブランド事業や秋の収穫まつり事業などに係る補助金を交付し、農業の振興を図った。
- ・ 植木剪定材を利用し、農業に適した堆肥を作成・販売することにより、化学肥料の使用量を削減し、環境保全型農業を推進した。
- ・ 人・農地プラン(地域農業マスタープラン)に基づく、農業の担い手の確保、遊休農地の解消及び国の施策に基づく担い手の育成・支援のための制度の円滑な運用を図った。
- ・ 前年度からの繰越明許費により、降雪災害緊急支援事業補助金を農業用施設に被害を受けた農業者に交付したが、一部資材の不足により事業が完了しなかったため、翌年度に繰り越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,796	40,041	21,260	2,070	16,711
主な支出内訳				
7節 臨時的任用職員賃金				674
8節 鎌倉市農業振興協議会委員等報償費				127
11節 事務用品等消耗品費				84
13節 鎌倉ブランド堆肥パッキング等業務委託料				1,371
19節 神奈川県農業会議賛助員拠出金等負担金				198
農業振興事業費補助金				2,450
新規就農者確保支援事業交付金				0
環境保全型農業直接支援事業交付金				23
農業経営基盤強化資金利子補給金				40
降雪災害緊急支援事業補助金				16,293
(前年度からの繰越明許費・翌年度への事故繰越)				
主な特定財源				
・ 国県支出金				12,587

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

市民農園事業

【

産業振興課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 市民

意図 市民が野菜及び草花の栽培を通じて自然と触れ合い、農業への親しみ及び理解を深める機会を提供するため。

効果 市民が農作業を行うことにより、農業への理解が得られるとともに、農地のレクリエーション機能の活用が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 大船地区市民農園の第10期(平成26年4月から23か月)の利用を開始し、維持管理を行った。
- ・ 土地所有者が事業主体となる市民農園の開設については新規の具体的な事案はなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,246	1,246	863		383

主な支出内訳

8節	市民農園耕作指導報償費	504
13節	大船地区市民農園區画補修業務委託料	81
	大船地区市民農園内U字溝清掃業務委託料	62
	大船市民農園野菜残さ箱処理及び周辺草刈等業務委託料	216

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

水産業振興運営事業

【 産業振興課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 漁業従事者等

意図 水産関係団体との連携を図るとともに、栽培漁業の推進などにより、漁業経営の安定化を図り、地域に即した漁業の振興を図るため。

効果 つくり育てる漁業の推進を支援することにより、水産業の振興を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 漁業協同組合への補助金の交付、各種水産関連団体への参加等により、水産業の振興を図った。
- ・ 漁業者・関係団体等で組織する協議会を設置し、鎌倉の水産業振興について協議・検討を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,656	2,656	2,089		567
主な支出内訳				
8節 鎌倉市水産業振興協議会委員報償費				114
11節 事務用品等消耗品費				82
19節 神奈川県水難救済会等負担金				393
漁業施設等災害見舞金				0
鎌倉漁業協同組合事業費補助金				1,000
腰越漁業協同組合事業費補助金				500

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

漁港施設管理事業

【 産業振興課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 漁業従事者等

意図 腰越漁港施設の良好な維持管理を行うため。

効果 円滑な漁業活動の推進を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 漁港施設維持運営計画に基づき、漁港施設の維持管理を行った。
- ・ 腰越海岸の飛砂防止のための海浜整地業務や、必要な漁業施設整備を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,507	3,507	2,875		632
主な支出内訳				
11節	腰越漁港公衆便所取替等修繕料			371
13節	腰越漁港指定管理料			189
	腰越漁港ベンチ設置業務委託料			244
	腰越海岸海浜整地業務委託料			1,836
	救命用具等設置業務委託料			0
	竣功リーフレット作成業務委託料			86
	腰越漁港看板撤去業務委託料			19
	腰越漁港ポール等設置業務委託料			130

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

漁港施設整備事業

【 産業振興課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 漁業従事者等

意図 腰越漁港改修整備後の周辺環境への影響を把握するため。

効果 周辺環境の調査を踏まえ、今後の水産業の振興と適正な海面利用を図る。

【 事業の内容 】

- ・前年度からの繰越明許費により腰越漁港測量調査業務を実施した。
- ・前年度からの繰越明許費により腰越漁港改修整備工事を完了した。
- ・前年度からの繰越明許費による都市計画決定申請図書作成業務委託は腰越漁港整備に伴い腰越漁業協同組合から要望のあった土地利用計画が具体化されなかったため事業の実施を見送った。
- ・腰越漁港改修整備後の環境モニタリング調査を行い、改修整備による周辺環境への影響を調査した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,411	56,310	31,403		24,907
主な支出内訳				
13節	腰越漁港改修整備事業環境モニタリング調査業務委託料			2,322
	腰越漁港防砂堤区画線設置業務委託料			65
	都市計画決定申請図書作成業務委託料(前年度からの繰越明許費)			0
	腰越漁港測量調査業務委託料(前年度からの繰越明許費)			1,458
14節	水産公共工事積算システム使用料			713
15節	平成25年度腰越漁港改修整備工事請負費 (前年度からの繰越明許費)			26,845
主な特定財源				
	・国県支出金			6,539
	・地方債			2,000

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

鎌倉地域漁港対策事業

【

産業振興課

】

※重点事業(事業CD:6-1-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 漁業従事者等

意図 鎌倉地域の漁港建設について検討するとともに、漁業者の就労環境の改善、漁船の安全確保、台風等の災害対策などの当面の支援策を実施するため。

効果 当面の支援策の実施により、鎌倉地域における漁業の安全性の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 将来的な漁港整備について検討した。
- ・ 台風等の災害対策や漁業者の就労環境の改善を図るため、関係機関との調整を図りつつ、必要な施策を検討した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,113	4,113	0		4,113

主な支出内訳

13節 都市計画変更申請図書作成業務委託料

0

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 5 商工総務費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

商工運営事業

【 観光商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 事業者等

意図 商工業の振興、物産振興を図るため。

効果 産業の維持、発展と活力あるまちの創出が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 商工事務事業に係る庶務的業務を行った。
- ・ 萩市、上田市、足利市及び鎌倉市の特産品を一堂に集め、それぞれの物産と観光を市民に紹介する姉妹都市物産展を開催した。
- ・ 3市1組合共催川崎競輪事業からの撤退について、川崎市と和解契約を締結し、解約一時金を支払った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,658	42,490	42,482		8

主な支出内訳

1節 事務補助嘱託員報酬 2人	2,057
9節 事務補助嘱託員費用弁償	100
11節 消耗品費	32
13節 姉妹都市物産展開催準備等業務委託料	462
22節 3市1組合共催川崎競輪事業からの撤退に伴う和解に係る解決一時金	39,831

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 5 商工総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

経営企画部市民相談課(消費生活担当)

市民活動部観光商工課(商工担当)

【 職員給与費 】

(単位:千円)

主な支出内訳	
職員給与費	42,795
・ 2節 給料 一般職	20,597
一般職職員 5人	
再任用(短時間) 1人	
・ 3節 職員手当等	14,903
扶養手当	482
地域手当	2,967
通勤手当	630
超過勤務手当	733
休日給	14
管理職手当	942
期末勤勉手当	8,387
住居手当	528
児童手当	220
・ 4節 共済費	7,295
市町村職員共済組合負担金	6,510
社会保険料	696
雇用保険料	89

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

中小企業支援事業

【 観光商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 中小企業者等

意図 市内の中小企業者の健全な発展及び振興を図るため。

効果 安定的な事業経営・新規事業展開の実現を図る。

【 事業の内容 】

- ・市の制度融資を実行するための原資となる資金を金融機関へ預託した。
- ・制度融資を利用した際に支払う信用保証料について、その一部を補助することにより、負担の軽減を図った。
- ・経営安定資金融資の利用者に支払利子相当額の一部を補助し、負担の軽減を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
519,925	517,925	514,996		2,929
主な支出内訳				
19節	信用保証料補助金	218件		13,882
	経営安定資金融資利子補給金	102件		1,114
21節	中小企業融資預託金			500,000
	預託先	4金融機関		
	融資件数	182件		
	融資金額	604,490千円		

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

商工会議所助成事業

【 観光商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 事業者等

意図 事業者等の安定的な経営を確保し、商工業の振興と総合的な改善・発達を図るため。

効果 市内中小企業者の経営安定を確保し、商工業の振興と総合的な改善・発達を図ることにより、地域産業の振興と活力あるまちの創出を図る。

【 事業の内容 】

- ・商工業の総合的な改善・発達と社会一般の福祉の増進を目的とする商工会議所の運営及び事業に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,668	14,668	14,667		1

主な支出内訳

19節 商工会議所運営費補助金	6,935
商工業振興事業等補助金	553
中小企業経営支援事業補助金	7,179

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

商店街振興事業

【 観光商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 商店街等

意図 商店街が行う各種事業に対して支援を行い、商店街の活性化を図るため。

効果 商店街を支援することにより、まちの活性化と地域産業の振興の実現を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉市商店街連合会の組織強化と活性化を支援した。
- ・ 専門家の助言を必要とする商店街に対してアドバイザーを派遣し、助言・指導を行った。
- ・ 商店街団体の街路灯及び電飾アーチの電気料金の一部を助成した。
- ・ 商店街団体が実施する売上の増加が見込まれる事業、地域住民との交流が見込まれる事業等に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,354	13,902	13,167		735

主な支出内訳

8節	商店街アドバイザー謝礼			25
19節	商店街連合会補助金			1,710
	商店街街路灯等維持管理費補助金			7,962
	商店街活性化事業費補助金			3,470

商工業振興事業

【

観光商工課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 商工業者、商店街団体等

意図 商工業者や商店街団体が事業展開しやすい環境を整備するとともに、中小企業の経営革新を支援するため。

効果 商工業の持続的な発展と、活力あるまちの創出を図る。

【 事業の内容 】

- ・地域の資源を活用して創業する事業に要する経費の一部を助成したが、新しい商品・技術の開発、サービスの提供を行う事業については、該当する事業がなかったため、助成を行わなかった。
- ・市内事業者が情報発信・交流することができるサイトを運営した。
- ・商工会議所が実施したプレミアム商品券発行事業に要する経費の一部を助成した。
- ・国の地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地域消費喚起・生活支援型)を活用した(仮称)かまくらスーパープレミアム商品券発行事業に係る経費については、年度内に執行しないため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・公益財団法人神奈川産業振興センターが実施する経営アドバイザー派遣事業の利用者が支払った費用の一部を助成した。
- ・商業団体が実施する共同施設の設置に要する経費の一部を助成した。
- ・中小企業者が実施する展示会等出展事業の経営革新事業に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
45,410	141,862	43,226	97,000	1,636
主な支出内訳				
1節 商工業元気アップ事業選定委員会委員報酬 3人				32
8節 商工業元気アップ事業フォローアップ診断謝礼				50
13節 事業者情報発信・交流サイト運営業務委託料				778
19節 商工業元気アップ事業費補助金				1,000
プレミアム商品券発行支援補助金				39,875
(仮称)かまくらスーパープレミアム商品券発行支援補助金(翌年度への繰越明許費)				0
経営アドバイザー派遣事業補助金				25
商業振興共同施設設置費補助金				1,266
環境共生事業(企業施設整備事業)等補助金				200

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

公衆浴場助成事業

【 観光商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 公衆浴場業者

意図 公衆浴場の健全な運営を支援し、市民の利便性の確保と公衆衛生の向上に努めるため。

効果 公衆浴場業者を支援することにより、市民の利便性の確保と公衆衛生の向上・増進に繋がり、
更には地域におけるコミュニティの場の創出を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 公衆浴場を確保するため、一定の要件を満たす公衆浴場の用水費、燃料費及び光熱費の一部を助成した。
- ・ 公衆浴場の設備の整備に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
836	836	776		60
主な支出内訳				
19節 公衆浴場確保対策事業費補助金				236
公衆浴場設備整備費補助金				540

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

伝統鎌倉彫振興事業

【 観光商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 伝統鎌倉彫事業協同組合

意図 鎌倉で唯一「伝統的工芸品」として指定されている鎌倉彫の高度な技術の伝承と地場産業としての振興を図るため。

効果 伝統鎌倉彫事業協同組合が行う各種事業を支援することにより、鎌倉彫産業の振興を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉彫振興事業所の維持管理を行った。
- ・ 伝統工芸品産業の振興を図る団体に加入し、情報収集を図った。
- ・ 伝統鎌倉彫事業協同組合が行う鎌倉彫創作展、小・中学生の体験教室等に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,620	1,620	1,573		47

主な支出内訳

11節 鎌倉彫振興事業所光熱水費	474
鎌倉彫振興事業所維持修繕料	166
12節 鎌倉彫振興事業所消防用設備保守点検手数料	25
13節 鎌倉彫振興事業所警備業務委託料	127
19節 伝統的工芸品産業振興協会賛助会費	40
伝統鎌倉彫振興事業補助金	741

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 15 消費生活対策費

◎消費者対策 ○消費者施策の推進

消費者自立支援事業

【 市民相談課・資源循環課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 消費者対策
 施策の方針 消費者施策の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 消費者被害を未然に防ぐなどの啓発を行うとともに、商品・サービスの購入に係る苦情を受けるため。

効果 消費者被害防止、食の安全などの情報を市民に向けて伝え、また消費者の苦情相談に対し、あっせん、助言、調停などを通じ被害の救済を図ることができる。

【 事業の内容 】

- ・消費者被害を未然に防ぐため、消費生活講座、移動教室や広報紙への掲載などによる啓発を行った。
- ・消費生活相談員による消費生活に関する苦情相談、助言を行った。なお、消費生活紛争調停委員会の調停に付する案件はなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,609	16,609	15,381		1,228
主な支出内訳				
1節	消費生活相談員報酬 7人			11,098
	消費生活委員会委員報酬 7人			72
	紛争調停委員会委員報酬			0
8節	移動教室、講座講師等謝礼			465
	消費生活相談員助言報償費			600
9節	消費生活相談員費用弁償			917
11節	啓発事業等消耗品費			86
	消費生活センター周知用消耗品費			620
	暮らしのニュース印刷製本費			175
12節	電信料			37
13節	消費生活相談員助言委託料			514
19節	不用品登録事業負担金			790
	消費生活相談員研修負担金			7
主な特定財源				
	・国県支出金			4,645

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 5 観光総務費

◎観光 ○地域が一体となった観光振興の推進

観光運営事業

【 観光商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 地域が一体となった観光振興の推進

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 「住んでよかった、訪れてよかった」まちづくりに取り組むため。また、他の自治体と連携し、広域的な観光客誘致を行うため。

効果 観光客にとっては、観光目的を達することによる満足感が得られ、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・ 三浦半島観光連絡協議会などの関係団体、協議会と連携し、誘客キャンペーンやパンフレットの作成などの広域観光宣伝や情報交換等を行った。
- ・ 第2期鎌倉市観光基本計画の推進及び進行管理を行った。
- ・ 第3期鎌倉市観光基本計画の策定に向け、鎌倉市観光基本計画推進委員会を立ち上げた。
- ・ 観光施策の推進に必要な経費に充てるため、寄附金による収入確保を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,327	8,327	6,797		1,530
主な支出内訳				
1節	事務補助嘱託員報酬 2人			2,056
	鎌倉市観光基本計画推進委員会委員報酬 8人			40
7節	臨時的任用職員賃金			578
8節	鎌倉市観光基本計画進行管理委員会委員報償費			98
9節	事務補助嘱託員等費用弁償			43
11節	消耗品費			48
13節	鎌倉市観光基本計画策定業務委託料			2,311
	寄附金収納代行業務委託料			0
19節	三浦半島観光連絡協議会負担金			500
	湘南地区観光振興協議会負担金			243
	神奈川県観光振興対策協議会負担金			210
	富士箱根伊豆国際観光テーマ地区神奈川県協議会負担金			200
	鎌倉藤沢観光協議会負担金			180
	東大寺サミット負担金			150
	神奈川県観光協会負担金			90
	北条五代観光推進協議会負担金			50

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 5 観光総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

市民活動部観光商工課(観光担当)

【 職員給与費 】

(単位:千円)

主な支出内訳	
職員給与費	40,799
・ 2節 給料 一般職	18,417
一般職職員 6人	
・ 3節 職員手当等	16,314
扶養手当	756
地域手当	2,708
通勤手当	352
超過勤務手当	2,743
休日給	56
管理職手当	942
期末勤勉手当	7,895
住居手当	502
管理職員特別勤務手当	0
児童手当	360
・ 4節 共済費	6,068
市町村職員共済組合負担金	

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○観光都市としての質の向上

観光振興事業	【 観光商工課 】
---------------	-----------

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 観光
 施策の方針 観光都市としての質の向上

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 多様な観光プログラムと最新の観光情報を提供するとともに、市民・事業者のホスピタリティの向上と観光客のモラルの向上を図るため。

効果 観光客にとっては、観光目的を達することによる満足感が得られ、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・ かまくら四季のみどころや観光マップなどのパンフレット類やホームページの充実を図り、観光客への適切な情報提供に努めた。
- ・ 訪日外国人観光客の受入環境整備のため、外国語ガイド活動の支援を行った。
- ・ 国の地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)を活用したWi-Fi接続環境整備事業に係る経費については、年度内に執行しないため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,170	31,742	5,856	25,436	450
主な支出内訳				
8節	トラベルマート通訳報償費			14
11節	消耗品費			4
	四季のみどころ印刷製本費			1,310
	課外授業ガイド印刷製本費			381
12節	運搬料			1
13節	四季のみどころ編集業務委託料			1,037
	観光マップ「鎌倉」作成業務委託料			1,079
	ホームページ更新等業務委託料			482
	外国語版パンフレット作成業務委託料			755
	観光ホームページサーバセキュリティ対応業務委託料			200
	Wi-Fi接続環境整備事業委託料(翌年度への繰越明許費)			0
14節	トラベルマート出展ブース等賃借料			93
	Wi-Fi接続環境整備事業使用料(翌年度への繰越明許費)			0
19節	外国語ガイド活動支援事業負担金			500
	Wi-Fi接続環境整備事業補助金(翌年度への繰越明許費)			0
主な特定財源				
	・国県支出金			782

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○安全で快適な観光空間の整備

観光案内所運営事業

【 観光商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 安全で快適な観光空間の整備

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 観光案内業務を通じて観光客の利便性を高めるため。

効果 観光客にとっては、観光目的を達することによる満足感が得られ、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

・ JR鎌倉駅構内東口の観光案内所の運営を委託し、観光客に対し適切な情報提供を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,560	7,560	7,519		41

主な支出内訳

12節 観光案内所電信料	86
13節 観光案内所業務委託料	7,376
19節 観光案内所電気使用料負担金	57

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○安全で快適な観光空間の整備

観光施設整備事業

【

観光商工課

】

※重点事業(事業CD:6-2-2-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 観光
 施策の方針 安全で快適な観光空間の整備

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 観光基盤施設を整備し、観光客が安全で快適に観光できるようにするため。

効果 観光客にとっては、観光目的を達することによる満足感が得られ、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・ 観光案内板等の新設・改修・修繕を行った。
- ・ 公衆トイレの修繕・改修を行い、清潔で快適な空間確保に努めると共に、ハイキングコースの安全の確保を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
42,548	42,412	30,570		11,842
主な支出内訳				
11節 消耗品費				59
公衆トイレ等維持修繕料				2,167
12節 公衆トイレし尿処理手数料				1,550
備品倉庫消防設備点検手数料				13
13節 観光案内板作成委託料				975
浄光明寺公衆トイレ工事監理業務委託料				983
協働型トイレ清掃業務委託料				0
ハイキングコース等整備業務委託料				545
由比ガ浜大通り公衆トイレ清掃業務委託料				213
大船駅東口公衆トイレ雨漏り調査業務委託料				80
14節 由比ガ浜大通り公衆トイレ賃借料				1,102
15節 浄光明寺公衆トイレ改築工事請負費				22,658
19節 ハイキングコースパトロール事業負担金				225
協働型トイレ事業負担金				0
浄光明寺公衆トイレ水道加入負担金				0
主な特定財源				
・国県支出金				19,531

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○地域が一体となった観光振興の推進

観光振興支援事業

【 観光商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 地域が一体となった観光振興の推進

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 観光事業者、観光団体、市民・市民団体など様々な観光主体が一体となり、地域全体で観光振興をするため。

効果 観光客にとっては、観光目的を達することによる満足感が得られ、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

・鎌倉花火大会、鎌倉ビーチフェスタ、俳句&ハイクなどに負担金を交付し、本市の観光振興を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,071	12,071	12,069		2
主な支出内訳				
19節 鎌倉花火大会実行委員会負担金				5,734
主要観光行事安全対策負担金				4,750
鎌倉ビーチフェスタ事業負担金				1,045
俳句&ハイク事業負担金				540

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○地域が一体となった観光振興の推進

観光協会支援事業

【 観光商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 地域が一体となった観光振興の推進

【 事業の目的 】

対象 鎌倉市観光協会・観光客等

意図 様々な観光主体のネットワークの中心となり、観光宣伝と観光客誘致を行う鎌倉市観光協会を支援するため。

効果 観光客にとっては、観光目的を達することによる満足感が得られ、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉市観光協会の運営や鎌倉まつり、薪能等の実施事業に対する支援を行い、本市の観光振興を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
42,324	42,324	42,324		0
主な支出内訳				
19節 鎌倉市観光協会運営費等補助金				42,324

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 15 海水浴場費

◎観光 ○安全で快適な観光空間の整備

海水浴場運営事業

【 観光商工課 】

※重点事業(事業CD:6-2-2-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 観光
施策の方針 安全で快適な観光空間の整備

【 事業の目的 】

対象 海水浴客等

意図 海水浴場の公衆衛生、危険防止及び秩序保持を図るため。

効果 海水浴客にとっては、安全に海水浴を楽しむことによる満足感が得られ、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・ 海水浴場開設に必要な電気・水道・放送設備やコースロープを整備した。
- ・ 海浜の整地、監視業務等を実施し、安全確保を図った。
- ・ 海水浴客のマナーアップのため、警備員の巡回や啓発看板の設置を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
48,954	48,954	48,032		922
主な支出内訳				
11節 消耗品費				276
印刷製本費				94
光熱水費				12
12節 電信料				127
13節 海水浴場監視業務等委託料				27,038
砂防柵設置・撤去及び海浜整地業務委託料				4,790
放送設備及び放送塔設置業務委託料				1,898
コースロープ設置業務委託料				1,428
仮設木橋設置等業務委託料				1,542
防犯灯及び監視所電灯配線設置等業務委託料				1,715
看板作成業務委託料				703
海水浴場巡回警備業務委託料				3,166
14節 監視所・仮設トイレ等賃借料				4,838
防犯カメラ賃借料				76
19節 海水浴場監視業務用電気・水道使用料負担金				329

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎防災・安全 ○地震対策・風水害対策の充実

がけ地対策事業

【

総合防災課

】

※重点事業(事業CD:5-1-1-5)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 地震対策・風水害対策の充実

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民の保護を図るため。

効果 防災工事を施工し市民の保護を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 既成宅地等におけるがけ崩れや土砂の流出等による災害の発生を防ぐため、防災工事費及び伐採工事費の一部を助成した。
- ・ 県が指定する急傾斜地崩壊危険区域内で行われる市内の急傾斜地防災工事事業費の約2割を県に支払うとともに、防災工事の促進を働きかけ指定区域の拡大を図った。
- ・ 急傾斜地崩壊対策事業等の普及及びその促進を図った。
- ・ 防災工事費に対する借り入れ利子の半額を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
93,295	90,295	82,307		7,988

主な支出内訳

1節	事務補助嘱託員報酬 2人			2,056
9節	事務補助嘱託員費用弁償			112
11節	消耗品費			59
19節	急傾斜地防災工事負担金			55,014
	神奈川県治水砂防協会等負担金			229
	既成宅地等防災工事補助金			24,281
	既成宅地等防災工事利子補給金			0
21節	既成宅地等防災工事融資預託金			556

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎防災・安全 ○危機管理対策

放射性物質測定事業

【 浄化センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 危機管理対策

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 放射性物質の測定を行い、市民生活の安全を図るため。

効果 給食食材等の放射性物質の測定を行うことにより、市民生活の安全を確保する。

【 事業の内容 】

・学校や保育園の給食食材等の放射性物質を測定した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,611	3,611	3,034		577

主な支出内訳

7節	放射性物質測定事務臨時的任用職員賃金	2,109
11節	放射性物質測定用消耗品費(液体窒素等)	501
	放射性物質測定装置修繕料	100
13節	食品・環境放射性物質測定装置点検委託料	324

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道(水)路調査事業

【 道水路管理課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 道路整備
 施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全な市民生活の基礎となる道水路整備を的確に行うための道水路の境界査定を行う外、狭あい道路を拡幅整備することにより、防災・交通等都市機能の向上を図るため。

効果 道水路との境界が未確定の箇所をなくし、市内全域の道路・水路の管理区域を確定することでの的確な整備・管理を行うとともに、道路の後退用地を確保し、拡幅することで、安全で住みよいまちを実現する。

【 事業の内容 】

- ・ 査定申請に基づき現地調査を実施した。測量委託業者を選定し、土地所有者との立会を行い境界の確定後、査定図を作成した。
- ・ 市道の狭あい道路拡幅整備事業の申請を受け、測量業務を行い、道路用地を取得した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
71,039	69,142	66,424		2,718
主な支出内訳				
1節 事務補助嘱託員報酬 2人				2,056
7節 土地境界査定図交付事務等臨時的任用職員賃金				1,133
9節 事務補助嘱託員費用弁償				141
11節 消耗品費				52
13節 境界査定立会等業務委託料				39,522
境界立会 105回、打合協議 29回、石標埋設 48本、金属標埋設 53枚				
4級基準点測量(伐採なし)4,180.6m及び394点、同(伐採あり)388.2m及び2点				
境界点測量 432点、査定図作成82,577.8㎡外				
狭あい道路拡幅整備事業境界査定立会等業務委託料				8,964
境界立会 23回、石標埋設 3本、金属標埋設 4枚				
4級基準点測量(伐採なし) 564.3m及び96点、同(伐採あり)0m及び2点				
境界点測量 51点、査定図作成 20,833.9㎡外				
鎌倉市道053-101号線外変位観測測量業務委託料				519
14節 電子複写機賃借料				246
16節 境界査定用境界杭等原材料費				729
17節 狭あい道路拡幅用地等購入費				13,062
主な特定財源				
・国県支出金				10,071

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路台帳整備事業

【 道水路管理課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路法で調製及び保管が義務付けられている道路台帳の整備を行い、道路管理上の基礎的事項を総括して把握するため。

効果 良好な道路管理が可能となり、住民サービスの向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・道路状況の経年変化に伴う道路台帳の補正や認定路線網図の補正を行った。
- ・亡失や位置ずれ等が生じた既存境界点の復元及び開発等により設置された境界点の確認を行った。
- ・道路及び水路等の境界査定図を管理・交付するためのシステムを運用した。
- ・境界復元や開発等の境界設置に使用する境界杭等を購入した。
- ・地籍調査事業(官民境界等先行調査)により、道路・水路等の官有地と民有地との境界確定を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
73,427	72,308	65,535		6,773
主な支出内訳				
7節 法定外公共物等所管事務等臨時的任用職員賃金				2,321
13節 境界杭復元等業務委託料				27,806
4級基準点測量5,208.4m及び305点、石標埋設復元50本 金属標埋設復元190枚、金銀埋設復元418本、境界点復元測量752点 地形測量3,296㎡、検査探索2,510点外				
道路台帳補正及び認定路線網図作成等業務委託料				10,325
基準点機能回復測量業務委託料				0
土地境界査定図管理システム機器保守委託料				1,205
都市基準点測量業務委託料				16,632
地籍調査事業測量等業務委託料				3,920
14節 土地境界査定図管理システム賃借料				2,753
16節 境界杭等原材料費				573
主な特定財源				
・国県支出金				2,410

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路施設管理事業

【 道水路管理課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路機能を良好に保持するため。

効果 多様化する生活環境や市民等の安全性・快適性の向上を図るため、常に良好で円滑な道路機能の保持を図る。

【 事業の内容 】

・道路利用者の安全性・快適性を保ち良好で円滑な道路機能を保持するための業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
94,973	95,837	88,313		7,524
主な支出内訳				
11節 消耗品費				515
光熱水費				9,265
大船駅東口ペDESTリアンデッキ照明器具等修繕料				1,457
12節 電信料				368
道路賠償補償保険料				851
13節 鎌倉駅通抜地下道清掃等業務委託料				194
看板作成業務委託料				191
道路維持業務委託料				7,267
路上放置自動車処理業務委託料				0
大船駅監視設備保守管理業務委託料				648
大船駅東口エレベーター等設備保守管理業務委託料				4,352
大船駅西口エレベーター等設備保守管理業務委託料				4,925
大船駅ペDESTリアンデッキ等清掃業務委託料				3,063
大船駅管理施設警備監視業務委託料				12,318
鎌倉駅通抜地下道排水ポンプ・ディーゼルエンジン保守点検業務委託料				50
鎌倉駅通抜地下道排水設備ポンプ制御盤装置保守点検及び水槽清掃業務委託料				119
14節 大船駅西口ペDESTリアンデッキ用地賃借料				1,542
大船駅西口公共広場等用地賃借料				40,639
19節 神奈川県道路利用者会議等負担金				80
22節 道路事故賠償金 2件				469

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

街路照明灯事業

【 道水路管理課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活を送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 夜間等の通行車両や市民等の安全確保のため。

効果 道路の街路照明灯の良好な維持管理を図る。

【 事業の内容 】

・ 既存の街路照明灯の維持修繕等を行い、市民が安全な生活を送れるまちづくりを図った。

・ 安全な通行を確保するために街路照明灯の設置整備を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
30,417	36,420	35,960		460

主な支出内訳

11節	市内街路照明灯電気料	27,604
	街路照明灯維持修繕料	4,114
13節	街路照明灯設置業務委託料	138
	街路照明灯点検業務委託料	4,104

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

防災安全部総合防災課(がけ地対策担当)

都市調整部(都市調整課風致担当を除く)

都市整備部のうち都市整備総務課・道水路管理課・建築住宅課(住宅担当を除く)・作業センター

【 職員給与費 】

(単位:千円)

主な支出内訳

職員給与費	776,075
・ 2節 給料 一般職	367,005
一般職職員 94人	
再任用(短時間) 9人	
・ 3節 職員手当等	290,046
扶養手当	16,007
地域手当	53,277
通勤手当	11,819
超過勤務手当	26,378
休日給	368
管理職手当	11,172
特殊勤務手当	1,581
期末勤勉手当	148,416
住居手当	15,765
管理職員特別勤務手当	93
児童手当	5,170
・ 4節 共済費	119,024
市町村職員共済組合負担金	118,109
社会保険料	455
雇用保険料	460

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

土木管理運営事務

【 都市整備総務課 】

※重点事業(事業CD:0-2-1-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 計画の推進に向けた考え方

分野 行財政運営

施策の方針 行財政運営

【 事業の目的 】

対象 部内各課

意図 事務事業の円滑な執行を行うため。

効果 事務事業の進行管理及び連絡調整を行うことにより、安全で快適な生活環境の整備を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 部内の一般会計に係る予算要求、執行管理、決算・監査に関する事項を行った。
- ・ 旅費及び郵便料の執行管理、工事の進行管理など部内の庶務を行った。
- ・ 鎌倉市社会基盤施設白書及び維持管理基本方針(案)の作成を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
21,806	21,968	20,778		1,190
主な支出内訳				
11節 一般文具等消耗品費				204
LAN配線維持修繕料				162
13節 鎌倉市社会基盤施設白書及び維持管理基本方針策定支援業務委託料				20,412

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

作業センター事業

【 作業センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 計画の推進に向けた考え方

分野 行財政運営

施策の方針 行財政運営

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民の安全性、利便性、快適性への迅速な対応を確保するため。

効果 安全で円滑な交通の確保、親しみやすい河川・緑地等の形成を図る。

【 事業の内容 】

・道路、河川、緑地等の維持補修及び側溝、管水路のしゅんせつを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
128,982	128,820	118,077		10,743
主な支出内訳				
11節 補修用消耗品費				1,546
作業用車両燃料費				1,665
光熱水費				100
道路管理施設等維持修繕料				22,233
備品修繕料				175
作業用車両修繕料				3,403
医薬材料費				41
12節 電信料				390
13節 上町屋資材置場警備委託料				102
残土処分委託料				3,024
カーブミラー設置業務委託料				3,294
高圧洗浄による排水管路等しゅんせつ清掃業務委託料				9,881
道路側溝等しゅんせつ汚泥運搬処分業務委託料				4,543
道路・河川清掃等業務委託料				30,798
14節 維持補修用重機賃借料				4,162
FAX付コピー機賃借料				75
16節 補修用原材料費				31,326
18節 補修用備品購入費				1,024
27節 自動車重量税				295
* 補修用原材料費内訳	アスファルト合材	567t	13,298千円	
	常温合材	210袋	570千円	
	カーブミラー部材	68面	4,622千円	
	グレーチング蓋	432枚	5,893千円	
	U型側溝蓋等	410枚	1,007千円	
	生コンクリート他	1式	5,936千円	

* 補修班による維持補修	アスファルト合材舗装工	481㎡
	アスファルト舗装打換工	632㎡
	排水溝等新設工	58m
	カーブミラー新設・補修工	213件

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

設計事務

【 建築住宅課 】

※重点事業(事業CD:0-2-1-4)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 計画の推進に向けた考え方

分野 行財政運営

施策の方針 行財政運営

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全・快適な施設利用の促進及び維持管理費用(ランニングコスト)削減を図るため。

効果 安全・快適な施設利用、経済的な施設管理及び建物の長寿命化を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 建築設計積算業務に要する公的価格データを作成した。
- ・ 建築積算システム機器の賃借及び保守を行った。
- ・ 耐震化未対応である公共建築物の耐震診断を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,941	15,198	14,595		603
主な支出内訳				
1節 設計業務等補助嘱託員報酬 3人				4,320
9節 設計業務等補助嘱託員費用弁償				87
11節 消耗品費				493
印刷製本費				34
13節 市場物価データ作成業務委託料				1,258
公共建築物の耐震診断業務委託料				2,634
14節 建築積算システム機器賃借料				4,319
マイクロフィルムスキャンシステム賃借料				943
空調負荷計算ソフト等賃借料				103
営繕積算システム賃借料				404
主な特定財源				
・ 国県支出金				725

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費

◎防災・安全 ○地震対策・風水害対策の充実

建築相談事業

【 建築指導課 】

※重点事業(事業CD:5-1-1-6)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 地震対策・風水害対策の充実

【 事業の目的 】

対象 昭和56年5月31日以前に建築された一戸建ての住宅・2世帯住宅・店舗併用住宅(いずれも在来工法で木造2階建て以下)等

意図 当該建築物等を所有する市民の安全を図るため。

効果 建築物等の安全性に対する市民の防災意識の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 窓口で耐震相談を受け、希望者に現地耐震診断を行い、診断費用を助成した。
- ・ 木造住宅の耐震改修工事や危険ブロック塀等の撤去を行った場合の費用を助成した。
- ・ 共同住宅等の耐震性に関する居住者の意識の熟成を図るため、アドバイザーの派遣を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
19,009	19,009	5,771		13,238
主な支出内訳				
8節 耐震改修アドバイザー派遣事業謝礼				17
13節 耐震相談業務委託料				267
19節 現地耐震診断補助金				1,300
木造住宅耐震改修工事費等補助金				3,700
危険ブロック塀等対策事業補助金				487
主な特定財源				
・ 国県支出金				5,551

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

都市調整運営事務

【 都市調整課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 計画的な土地利用によるまちづくりの推進のため。

効果 災害に強く、市民の福祉を高め、かつ環境保全に配慮した安全で快適なまちづくりの実現を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉市開発事業における手続及び基準等に関する条例等に関する業務を行った。
- ・ 開発事業等に係る公共施設管理者の同意及び協議に基づく協議書に関する業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,027	6,027	5,534		493
主な支出内訳				
1節 事務補助嘱託員報酬 2人、同(開発等許認可指導) 1人				4,796
9節 事務補助嘱託員費用弁償				208
11節 一般文具等消耗品費				520
印刷製本費				0
19節 神奈川県八市開発許可研究協議会負担金				10

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

開発審査事務

【 開発審査課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 開発事業者等

意図 開発許可制度等を活用して、安全で住みやすい宅地の造成、秩序ある都市づくりを図るため。

効果 安全で快適な住環境の創造を図る。

【 事業の内容 】

- ・都市計画法及び宅地造成等規制法による各種申請等の受付、審査、許可書の交付を行った。
- ・開発行為、宅地造成工事の完了検査及び検査済証の交付を行った。
- ・神奈川県開発審査会案件を付議した。
- ・開発許可等の違反に対する是正指導及び措置を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
357	398	394		4
主な支出内訳				
11節 一般文具等消耗品費				199
開発登録簿複写、カラーコピー等印刷製本費				153
12節 申請手数料				42

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

建築指導事務

【 建築指導課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 建築確認申請者等

意図 建築物の安全の確保を図るため。

効果 安心して住める建築物の確保

【 事業の内容 】

- ・ 建築確認申請等に関する事務及び建築基準法に基づく許認可等に関する業務を行った。
- ・ 建築審査会に関する事務及び各種協議会等に関する業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,249	12,208	7,215		4,993

主な支出内訳

1節	建築審査会委員報酬 3人	192
	事務補助嘱託員報酬 2人	1,285
7節	臨時的任用職員賃金	434
9節	事務補助嘱託員等費用弁償	43
11節	消耗品費	407
	印刷製本費	5
	維持修繕料	0
12節	控訴手数料	20
	特定行政庁団体賠償責任保険保険料	50
13節	特殊建築物等定期報告業務委託料	2,727
	建築基準法に基づく構造計算適合性判定業務委託料	689
	長期優良住宅の認定に係る技術的審査業務委託料	0
	低炭素建築物の認定に係る技術的審査業務委託料	0
	長期優良住宅等の認定に係る構造計算適合性判定業務委託料	0
14節	建築確認支援システム機器賃借料	756
	建築行政共用データベースシステム利用料	97
19節	神奈川県建築物震後対策推進協議会等負担金	510

建築基準法に基づく確認及び許可等状況

件 名	件 数
建築確認	65
計画適合通知	15
建築許可	113
仮使用承認	4
道路位置指定	4
長期優良住宅認定	164
低炭素建築物認定	5

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 5 道路橋りょう総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路橋りょう管理運営事業

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。

【 事業の内容 】

・土木積算総合システム保守及び機器等の管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
38,841	38,841	37,827		1,014

主な支出内訳

11節	消耗品費	525
	備品修繕料	32
13節	土木積算総合システム保守委託料	7,862
	工事資材単価調査業務委託料	84
14節	土木積算総合システム機器賃借料	24,467
	市町村システム使用料	4,320
	電子複写機賃借料	537

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 5 道路橋りょう総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

防災安全部市民安全課(交通安全担当)

まちづくり景観部交通計画課

都市整備部道路課(整備担当)

【 職員給与費 】

(単位:千円)

主な支出内訳

職員給与費	133,679
・ 2節 給料 一般職	58,442
一般職職員 16人	
・ 3節 職員手当等	55,876
扶養手当	2,061
地域手当	8,316
通勤手当	1,666
超過勤務手当	15,186
休日給	316
管理職手当	942
期末勤勉手当	24,044
住居手当	2,348
管理職員特別勤務手当	12
児童手当	985
・ 4節 共済費	19,361
市町村職員共済組合負担金	

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎総合交通 ○交通安全意識の高揚

交通安全対策事業

【 市民安全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 交通安全意識の高揚

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 交通環境の改善を図り、関係機関等との連携により、交通安全教育をはじめ各種交通安全対策を推進し交通事故による死傷者数の減少を図るため。

効果 交通事故及び死傷者の減少を図る。

【 事業の内容 】

- ・鎌倉市の交通安全を推進するため、市内交通関係機関及び団体相互の連絡を密にし、総合的・効果的な交通安全対策を推進し、交通事故防止を図るための各種事業を実施した。
- ・スクールゾーンの交通安全対策として、カラー舗装等を実施した。
- ・富士見町駅下横断歩道に、交通誘導員を通学時間帯に配置した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
17,797	17,797	17,241		556
主な支出内訳				
1節	交通安全教育指導員報酬 3人			4,620
8節	自転車教室指導員謝礼			380
9節	交通安全教育指導員費用弁償			402
11節	消耗品費			93
12節	交通安全教室損害保険料			30
13節	スクールゾーン対策業務委託料			4,470
	富士見町駅下交通誘導業務委託料			663
19節	鎌倉市交通安全対策協議会補助金			6,263
	鎌倉交通安全協会補助金			160
	大船交通安全協会補助金			160

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎総合交通 ○駐輪対策の推進

放置自転車防止事業

【 交通計画課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 駐輪対策の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 自転車等の放置防止により市民等の通行の安全、災害時の緊急活動の円滑化を図るため。

効果 駐輪場整備及び放置自転車等の警告移動を行い、市民等の通行の安全を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 駐輪場への誘導及び放置自転車等に対する警告や、警告後も移動しない放置自転車等の移動を委託した。
- ・ 放置しづらい環境づくりのため、歩行者の通行に配慮したプランター等の設置を委託した。
- ・ 市が管理する駐輪場の巡回管理及び自転車等保管場所の警備を委託した。
- ・ 保管期間が経過した自転車等のうち、リサイクルされないものの処分を委託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
47,594	47,594	45,778		1,816
主な支出内訳				
1節	放置自転車等返還業務嘱託員報酬 9人			8,598
	事務補助嘱託員報酬 2人			2,056
7節	臨時的任用職員賃金			722
9節	事務補助嘱託員費用弁償			127
11節	消耗品費			123
	印刷製本費			0
	光熱水費			366
	放置自転車等保管場所維持修繕料			0
12節	電信料			76
	保管自転車等損害賠償保険料			46
13節	放置自転車等防止対策業務委託料			30,435
	放置自転車等保管場所警備業務委託料(大船)			87
	放置自転車等保管場所警備業務委託料(鎌倉)			142
	放置自転車等廃棄処分業務委託料			159
	放置自転車等防止対策看板設置委託料			378
14節	稲村ガ崎自転車等駐車場土地使用料			182
	鎌倉駅西口第1自転車等駐車場土地使用料			2,187
16節	駐輪場設置及び修繕用原材料費			94
22節	放置自転車等賠償金			0

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

交通安全施設維持事業

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全な交通を確保し、事故防止を図るため。

効果 交通の円滑化、安全性の向上を図る。

【 事業の内容 】

・道路ラインの補修等を行い交通事故防止を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,784	4,784	4,425		359

主な支出内訳

11節	カラー舗装等維持修繕料	1,709
	ガードレール塗装等維持修繕料	461
13節	道路ライン等設置業務委託料	2,255
	(区画線 延長3,022.5m、文字記号 延長1,141.9m、交差点鉦2箇所)	

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

交通安全施設整備事業

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全な交通を確保し、事故防止を図るため。

効果 交通の円滑化、安全性の向上を図る。

【 事業の内容 】

- 交通安全施設を改修し、安全で円滑な交通を確保するとともに、スクールゾーンの安全対策を実施した。

市道059-000号線外の交通安全対策施設工事を行った。

市道055-000号線の交通安全対策施設工事については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

市道046-000号線の交通安全対策施設工事を行った。

市道055-000号線の交通安全施設整備工事については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

前年度からの繰越明許費により、市道046-131号線外の交通安全対策施設工事を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
34,459	42,343	19,619	17,464	5,260
主な支出内訳				
15節 交通安全対策施設工事請負費				19,619
内訳				
大船二丁目26番先外(市道059-000号線外) (歩道段差等改善14箇所)				8,240
山崎919番地先外(市道055-000号線)(翌年度への繰越明許費) (歩道段差等改善10箇所)				0
山ノ内1179番地先(市道046-000号線)				0
梶原三丁目29番先(市道046-000号線) (ガードレール設置 延長150m)				4,143
梶原二丁目34番先外(市道046-131号線外)(前年度からの繰越明許費) (歩道段差等改善12箇所)				7,236
交通安全施設整備工事請負費				0
寺分一丁目15番先(市道055-000号線)(翌年度への繰越明許費) (舗装工 延長41.6m 面積62㎡、側溝蓋改修 延長41.1m)				
主な特定財源				
・国県支出金				6,304

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 10 道路維持費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路維持補修事業

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。

【 事業の内容 】

- ・道路の維持補修を行い、安全で円滑な交通を確保し、事故防止に努めるとともに、通学路の安全対策を実施した。

市道212-082号線外の道路維持修繕工事については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

市道068-033号線の道路維持修繕工事を行った。

市道061-020号線外の道路維持修繕工事を行った。

市道055-000号線の道路維持修繕工事を行った。

市道209-025号線外の道路維持修繕工事を行った。

市道209-058号線外の大船駅東口ペDESTリアンデッキ天井板撤去工事については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

- ・崩落土砂の除去を行い、通行の安全確保を図った。
- ・大町三丁目11番先(市道006-044号線)の法面の安全を確保するための予備設計を行った。
- ・前年度からの繰越明許費により、北鎌倉トンネル改修設計等業務委託を行った。
- ・前年度から事故繰越した、市道042-027号線外の道路維持修繕工事を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
125,944	201,616	123,338	41,519	36,759
主な支出内訳				
11節 道路維持修繕料				8,834
13節 崩落土砂処分等業務委託料 1件				2,419
予備設計業務委託料(大町三丁目11番先)				3,251
法面予備設計 1式				
路面下空洞調査業務委託料				2,700
路面下空洞調査 延長1.8km				
北鎌倉トンネル改修設計等業務委託料(前年度からの繰越明許費)				20,482
トンネル改修設計等 1式				
15節 道路維持修繕工事請負費				85,652
内訳				
長谷二丁目8番先(市道212-082号線外)(翌年度への繰越明許費)				0
舗装工 延長65.4m 面積210㎡、排水工 延長102.9m				
大船五丁目4番先(市道068-033号線)				9,180
舗装工 延長96.0m 面積468㎡、排水工 延長79.8m				
今泉台一丁目4番先外(市道061-020号線外)				11,226
舗装工 延長279.9m 面積1,412㎡				

西鎌倉一丁目17番先外(市道055-000号線)	14,904
落石防護網 面積520㎡、舗装工 延長91.2m 面積265㎡	
岡本1018番地先外(市道209-025号線外)	25,110
舗装工 延長467.2m 面積2,053.1㎡、排水工 延長113.5m	
極楽寺二丁目11番先(市道011-021号線)	0
上町屋681番地先(市道042-027号線外)(前年度からの事故繰越し)	4,532
舗装工 延長82.6m 面積203㎡、排水工 延長97.6m	
大船一丁目2番先(市道209-058号線外)(翌年度への繰越明許費)	20,700
天井板撤去 面積1,530㎡	

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 15 道路新設改良費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路新設改良事業

【 道路課 】

※重点事業(事業CD:5-4-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路網の整備を図ることにより、都市環境の改善に寄与するため。

効果 交通の円滑化、安全の確保等、交通環境及び生活環境の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・岩瀬今泉周辺の交通対策としての砂押川沿い道路の歩道整備工事については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・大規模住宅地等の道路改良整備工事を行った。
- ・前年度から事故繰越しした市道055-000号線の道路改良整備工事を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
279,811	297,014	174,007	98,770	24,237
主な支出内訳				
15節 砂押川沿い歩道整備工事請負費(翌年度への繰越明許費)				50,000
大規模住宅地等道路改良整備工事請負費				124,007
内訳				
稲村ガ崎五丁目19番先(市道013-004号線)				27,209
舗装工 延長403.1m 面積2,900㎡				
西鎌倉一丁目2番先(市道023-000号線)				23,652
舗装工 延長286.9m 面積2,561㎡				
七里ガ浜東三丁目1番先(市道013-001号線)				23,584
舗装工 延長308.9m 面積2,242㎡				
梶原98番地先(市道044-000号線)				32,359
舗装工 延長337.5m 面積1,881㎡				
津西一丁目17番先(市道055-000号線)(前年度からの事故繰越し)				17,203
舗装工 延長236m 面積1,362㎡				
主な特定財源				
・国県支出金				54,362
・地方債				45,000

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 20 橋りょう維持費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

橋りょう維持補修事業

【 道路課 】

※重点事業(事業CD:5-4-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全な交通を確保するための施設保全を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 橋りょうの機能保持のため調査点検を行った。
- ・ 劣化が著しい箇所の補修等により、安全な交通を確保した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
42,520	42,520	19,345		23,175
主な支出内訳				
11節 高欄等維持修繕料				1,324
高欄塗装(魚町橋・大船橋)				
13節 橋りょう点検調査業務委託料				8,998
橋りょう点検調査55橋 横断歩道橋点検調査4橋				
橋りょう詳細設計業務委託料(神戸橋)				0
14節 橋りょう長寿命化修繕計画共同システム使用料				124
15節 橋りょう維持修繕等工事請負費(琴弾橋)				8,899
床版・橋台・橋脚補修工1式 橋面・床版補修工1式 高欄補修工1式				
主な特定財源				
・国県支出金				6,615

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 5 河川総務費

◎下水道・河川 ○水辺環境の整備・創出・管理

河川管理運営事業

【 道水路管理課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 下水道・河川

施策の方針 水辺環境の整備・創出・管理

【 事業の目的 】

対象 道路・河川維持管理協力団体等

意図 良好な市道・河川管理事業の円滑な推進を図るため。

効果 協力団体と連携し、良好な水辺環境を目指し、親しまれる川づくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・河川の良好な環境を維持するため、清掃等維持管理作業及び環境実態調査等を協力団体に依頼した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,490	1,490	1,429		61

主な支出内訳

8節 河川維持管理協力団体報償費	180
11節 消耗品費	21
14節 浸水対策排水施設用地土地賃借料	1,228

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 5 河川総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

都市整備部下水道河川課

【 職員給与費 】

(単位:千円)

主な支出内訳

職員給与費	40,006
・ 2節 給料 一般職	18,826
一般職職員 4人	
再任用(短時間) 1人	
・ 3節 職員手当等	15,438
扶養手当	643
地域手当	2,770
通勤手当	912
超過勤務手当	1,426
休日給	31
管理職手当	1,013
期末勤勉手当	7,740
住居手当	863
管理職員特別勤務手当	40
・ 4節 共済費	5,742
市町村職員共済組合負担金	5,742
雇用保険料	0

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 10 河川維持費

◎下水道・河川 ○水辺環境の整備・創出・管理

河川維持補修事業

【 下水道河川課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 下水道・河川

施策の方針 水辺環境の整備・創出・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 大雨や台風による洪水や溢水から市民等を守るとともに、市民等に親しまれる河川づくりを進めるため。

効果 河川護岸の崩壊等を未然に防ぐことや、市民等に親しまれる河川づくりを目指す。

【 事業の内容 】

- ・ 準用河川砂押川の維持修繕工事については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・ 前年度からの繰越明許費により、準用河川新川の維持修繕工事を行った。
- ・ 準用河川のしゅんせつを行った。
- ・ 神奈川県下の治水及び利水に関する企画、調査及び研究や治水及び利水事業の促進を目的として、県内市町村で構成されている、神奈川県河川協会へ参加した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,043	41,476	31,909	5,076	4,491
主な支出内訳				
11節	河川管理施設突発的維持修繕料			5,283
	滑川維持修繕料			2,986
13節	準用河川しゅんせつ業務委託料			1,283
15節	準用河川維持修繕工事請負費			
	準用河川砂押川(岩瀬671番地先 護岸根固工 延長22.5m)			22,263
	(翌年度への繰越明許費)			
	準用河川新川(常盤165番地先 護岸根固工 延長32.8m)			0
	(前年度からの繰越明許費)			
19節	神奈川県河川協会負担金			94
22節	地下埋設物移設等補償金			0

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 10 河川維持費

◎下水道・河川 ○水辺環境の整備・創出・管理

雨水施設維持管理事業

【 下水道河川課・浄化センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 下水道・河川

施策の方針 水辺環境の整備・創出・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 大雨や台風による洪水や溢水から市民等を守るため。

効果 雨水調整池やゲート類等の雨水排水施設について、良好な状態を保持する。

【 事業の内容 】

- ・ 雨水調整池(玉縄・台・腰越・笛田・ハイランド・岡本・城廻)やゲート類等の雨水排水施設について、良好な状態を保持するため、定期点検等を実施した。
- ・ 雨水調整池のしゅんせつを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
20,240	21,740	18,290		3,450
主な支出内訳				
11節 消耗品費				333
印刷製本費				20
雨水調整池光熱水費				8,702
雨水調整池管理施設等突発的維持修繕料				2,389
備品修繕料				54
12節 電信料				943
雨水調整池自家用電気工作物等点検手数料				1,430
13節 雨水調整池しゅんせつ業務委託料				1,289
フラップゲート点検委託料				605
雨水調整池巡回点検委託料				956
笛田調整池排水ポンプ点検委託料				454
玉縄調整池ポンプ機器総合点検委託料				375
ハイランド調整池ポンプ機器総合点検委託料				302
岡本調整池及び城廻調整池ポンプ機器点検委託料				295
玉縄調整池発電機棟建物警備委託料				143

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎歴史環境 ○歴史的風土の保存

風致地区事務

【 都市調整課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 歴史を継承し、文化を創造するまち
 分野 歴史環境
 施策の方針 歴史的風土の保存

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 都市の風致の維持、歴史的風土の保存、緑地の保全を図るため。

効果 「鎌倉」の環境の維持

【 事業の内容 】

- ・ 風致地区内行為許可事務、近郊緑地特別保全地区内行為許可事務及び特別緑地保全地区内行為許可事務を行った。
- ・ 歴史的風土保存区域内行為届出受理事務及び近郊緑地保全区域内行為届出受理事務を行った。
- ・ 古都保存法の啓発及び歴史的風土特別保全地区での行為許可、制限等について周知を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,712	1,712	1,473		239
主な支出内訳				
1節 事務補助嘱託員報酬 1人				1,028
都市計画審議会風致部会委員報酬				0
9節 事務補助嘱託員費用弁償				85
11節 許可及び届出受理事務消耗品費				39
条例制定周知リーフレット等印刷製本費				107
風致地区内標柱維持修繕料				179
19節 古都保存連絡協議会負担金				35
主な特定財源				
・ 国県支出金				175

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

緑政運営事業

みどり課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 緑の基本計画に沿った施策展開による計画を実現するため。

効果 緑の基本計画に基づき、種々の施策を展開し、緑豊かな都市環境の形成と市民の安全・快適な生活の確保を図る。

【 事業の内容 】

・緑の保全、創造等、緑政の重要事項に対して方向付けを行うため緑政審議会を開催した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,233	1,233	1,041		192

主な支出内訳

1節	緑政審議会委員報酬 9人	174
	緑化推進専門委員報酬 1人	408
8節	緑政審議会の審議に関する事前打合せに伴う報償費	4
11節	消耗品費	144
	印刷製本費	93
19節	森林協会等負担金	218

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

緑地取得事業

みどり課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 緑の基本計画に基づく保全すべき緑地や、特別緑地保全地区内の土地の所有者

意図 都市緑地法に基づく買い入れの申出に伴う取得及び法指定前の緑地保全の緊急対応のため。

効果 保全すべき緑地を確保する。

【 事業の内容 】

- ・鎌倉近郊緑地特別保全地区内における行為の不許可処分に伴う買入申出により、都市緑地法第17条に基づき緑地を買入れた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
211,548	211,548	211,073		475
主な支出内訳				
13節 鎌倉近郊緑地特別保全地区不動産鑑定評価業務委託料				1,361
17節 鎌倉近郊緑地特別保全地区土地公有財産購入費				209,712
主な特定財源				
・国県支出金				115,341
・地方債				84,900

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

緑化啓発事業

みどり課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
 分野 みどり
 施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 緑の基本計画の周知を図り、市民と連携して緑の環境づくりを推進するため。

効果 緑地等の保全、管理活動を市民と連携して推進し、市域全体を緑豊かにすることにより、これまで確保してきた緑地や都市公園等の機能を高める。

【 事業の内容 】

- ・市民との連携による緑の環境づくりを推進するため、緑の学校、緑のレンジャー等の緑化啓発事業に関する業務を委託した。
- ・敷地が道路に接する部分を新たに緑化する者に補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,743	4,743	4,616		127
主な支出内訳				
8節	ポスターコンクール優秀賞等報償費			108
11節	消耗品費			31
13節	緑化啓発に関する業務委託料			3,581
	＜委託業務内容＞			
	○緑の学校の企画・運営等 (参加者数=49名 開催回数=10回(延340名))			
	○緑のレンジャー・ジュニアの企画・運営等 (参加者数=37名 開催回数=11回(延315名))			
	○緑のレンジャー・シニアの企画・運営等 (参加者数=22名 開催回数=11回(延170名))			
	○緑のレンジャー自主活動グループの支援・育成等 (参加者数=延274名 開催回数=19回)			
19節	第26回鎌倉市緑化まつり事業負担金			160
	まち並みのみどりの奨励事業補助金 (件数=10件 総延長=145.1m)			736

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

樹林維持管理事業

【 公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 良好な状態の樹林地を保育しようとするため。

効果 樹木の健全な生育と生態系を含む豊かなみどり空間を市民に提供する。

【 事業の内容 】

- ・対象樹林地を6分割し、毎年度1地区ずつ順番に、枝払いや枯損木・倒木の処理、除間伐などの業務を委託した。
- ・平成26年度は、佐助・御成(御成町全域、佐助一・二丁目、笹目町全域、扇ガ谷一～四丁目、梶原一・四・五丁目、常盤全域、山崎全域、寺分一・二丁目)地区を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,829	11,829	10,854		975
主な支出内訳				
13節 樹林維持管理委託料				10,854

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

緑地保全事業

【 みどり課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 美観上優れた樹木・樹林・生垣の指定や、秩序ある市街地形成に必要な樹林地に対し、所有者の同意を得て、緑地保全契約を締結して保全するため。

効果 貴重な歴史的遺産と融合した緑地や豊かな自然環境を保全する。

【 事業の内容 】

- ・ 寄附金を緑地保全基金に積み立てた。
- ・ 保存樹林、樹木、生垣に対して奨励金を交付し、所有者に対して支援した。
- ・ 市街化区域にある緑地を保全するため、土地所有者と緑地保全契約を締結し奨励金を交付した。
- ・ 緑の基本計画に沿って確保した緑地のうち、荒廃が進む恐れのある樹林地等を質的に向上させるための整備業務を委託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
38,413	42,913	39,300		3,613
主な支出内訳				
8節	市民緑地愛護会報償金			30
13節	確保緑地の適正整備委託料 4件			1,896
19節	保存樹林奨励補助金			15,109
	199件 2,662,896.00㎡			
	保存樹木奨励補助金			600
	66件 334本			
	保存生垣奨励補助金			828
	117件 10,067.52㎡			
	緑地保全契約奨励補助金			12,288
	126件 642,119.67㎡			
25節	緑地保全基金新規積立金			1,002
	緑地保全基金利子積立金			1,977
	緑地保全基金寄附等積立金			5,570

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

風致保存会助成事業

みどり課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 鎌倉の歴史的景観と豊かな自然環境を後世に伝えるために活動している(公財)鎌倉風致保存会の組織の充実を図り、自主的運営の強化を図るため。

効果 会員(市民等)と連携した緑の環境づくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・ 風致保存会を運営するための補助金を交付した。
- ・ 鎌倉市風致保存基金に積み立てた一般からの寄附金を同会へ寄附金として交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,411	10,822	10,062		760

主な支出内訳

19節 風致保存会運営費補助金	9,622
25節 風致保存基金寄附等積立金	220
26節 風致保存会寄附金	220

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費
 ◎みどり ○都市公園等の整備・管理

緑地維持管理事業

【

公園課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
 分野 みどり
 施策の方針 都市公園等の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 防災に配慮しつつ、樹木伐採等を行うことにより、良好な緑地の維持管理を図るため。

効果 より適確な植生管理を行うことにより良質な樹林地の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 落石防護網の堆積土砂等の撤去や老朽化した階段手摺の修繕を行った。
- ・ 緑地の枝払いや倒木の恐れのある樹木の伐採等を行った。
- ・ 大雨等による災害を未然に防ぐため、落石防止網設置工事を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
32,915	39,357	36,691		2,666
主な支出内訳				
11節 消耗品費				6
光熱水費				43
管理施設維持修繕料				7,191
12節 電信料				43
緑地に関する賠償補償保険等保険料				838
13節 緑地維持管理委託料				26,064
((仮称)稲村ガ崎1-1号緑地外77緑地 除草工148,367㎡)				
15節 緑地維持管理工事請負費				1,836
((仮称)長谷3号緑地 落石防止網設置工面積82㎡)				
22節 緑地に関する賠償金				670

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎都市景観 ○良好な都市景観形成事業の推進

都市景観形成事業

【 都市景観課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 都市景観

施策の方針 良好な都市景観形成事業の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 景観法の活用により、開発行為や建築行為等に対する景観誘導、市民・事業者への普及・啓発・支援、行政の先導的な都市景観形成事業の推進を図るため。

効果 古都としての風格を基調とし、地域の特性を生かした都市景観を守り、つくり、育てることにより、潤いと安らぎのある快適なまちづくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・ 古都としての風格ある都市景観形成を推進するための調査や助成などを行った。
- ・ 景観計画及び景観地区等の制度を運用し、良好な景観の形成を推進した。
- ・ 鎌倉市屋外広告物条例の制定を含めた適正な規制・誘導策の検討及び普及啓発を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,682	3,682	3,347		335
主な支出内訳				
1節 景観審議会委員報酬 9人				164
8節 景観アドバイザー報償費				17
11節 消耗品費				107
印刷製本費				233
FAX維持修繕料				0
12節 違反屋外広告物除却協力員ボランティア保険料				24
13節 違反広告物除却業務等委託料				36
行政刊行物販売委託料				16
19節 景観重要建築物等助成金				2,750
景観形成協議会活動助成金				0
22節 違反屋外広告物除却協力員ボランティア保険賠償金				0

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎生活環境 ○海浜の環境保全

海浜保全事業

【 環境保全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 海浜の環境保全

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 海浜の保全と活用を図るため。

効果 樹林地、河川、海浜を一体としたネットワークにおいて海浜の環境と景観の保全を図る。安全で快適に過ごせる空間づくりと海浜の活用を図る。

【 事業の内容 】

- ・海浜保全に係る業務、神奈川県・鎌倉市・藤沢市・茅ヶ崎市サーフ90ライフセービング支援業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
489	489	303		186

主な支出内訳

11節 消耗品費	33
既存車止め等維持修繕料	0
13節 海岸の障害物処分等業務委託料	0
19節 サーフ90ライフセービング事業負担金	270

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

都市計画運営事務

【 都市計画課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市全域の土地利用・まちなみ

意図 都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、もって市域の均衡ある発展と公共の福祉の増進に寄与するため。

効果 まちづくりの基本理念である「暮らしに自然・歴史・文化がいきる古都鎌倉」(鎌倉市都市マスタープランより)を目指す。

【 事業の内容 】

- ・都市計画に関する事項の調査・審議のため都市計画審議会を開催するとともに、都市計画の決定・変更、都市計画事業の認可等の手続を行った。
- ・都市計画基本図及び都市計画関連情報を更新し、都市計画図等の印刷を行った。
- ・市街化区域及び市街化調整区域の見直し等検討業務委託については、県下一斉のスケジュールが延長されたため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・鎌倉市都市マスタープラン推進業務委託については、都市マスタープランの見直しには更なる検討時間を要するため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・都市計画業務支援システム用機器の更新を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
58,720	55,330	33,721	21,113	496
主な支出内訳				
1節 都市計画審議会委員報酬 13人				512
事務補助嘱託員報酬 1人				1,028
9節 事務補助嘱託員費用弁償				88
11節 消耗品費				421
鎌倉都市計画図等印刷製本費				2,809
13節 鎌倉市都市計画業務支援システム保守業務委託料				454
鎌倉市都市計画基本図修正業務委託料				23,717
鎌倉市都市計画基本図等データ設定及び都市計画関連データ等修正業務委託料				3,802
鎌倉市都市計画業務支援システム接続環境設定等業務委託料				702
鎌倉市市街化区域及び市街化調整区域の見直し等検討業務委託料 (翌年度への繰越明許費)				0
鎌倉市都市マスタープラン推進業務委託料 (翌年度への繰越明許費)				0
14節 鎌倉市都市計画業務支援システム用機器等使用料及び賃借料				178
19節 県都市計画実務担当者連絡協議会負担金				10

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

市街地整備運営事業

【 再開発課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 大船駅周辺整備事務所(拠点整備部)

意図 部内の庶務及び施設の維持管理を行うため。

効果 事務事業の進行管理、連絡調整及び適切な施設管理を行うことにより、良好な職場環境の確保を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 部内の予算要求、執行管理、予算・決算・監査に関する事項を行った。
- ・ 施設の適正な維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,963	3,963	2,638		1,325
主な支出内訳				
11節 一般文具等消耗品費				174
車両燃料費				158
光熱水費				729
事務所タラップ手摺修繕等修繕料				479
備品修繕料				0
車両修繕料				110
12節 電信料				216
消防設備点検手数料				31
火災等保険料				74
13節 事務所警備業務委託料				80
事務所清掃業務等委託料				177
FAX・コピー複合機保守点検業務委託料				141
FAX・コピー複合機回収・処理業務委託料				0
14節 NHK放送受信料				15
JCN鎌倉受信料				6
電話設備賃借料				164
FAX・コピー複合機賃借料				77
27節 自動車重量税				7

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

古都中心市街地整備事業

再開発課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 豊かな歴史的遺産と良好な自然環境を活かし、市民・来訪者が快適に共存できる風格と活力ある古都鎌倉の顔を再生・創造するため。

効果 鎌倉駅西口周辺地区では、駅前広場、交差点改良等の整備を進め、多くの市民・来訪者が快適に共存できる古都鎌倉の玄関口を整備する。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉駅西口周辺地区の駅前広場整備に向けて権利者対応等を行った。
- ・ 鎌倉駅西口周辺地区の建物共同化に向けて権利者対応等を行った。
- ・ 事業の推進に必要な資料作成等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
24	24	0		24

主な支出内訳

11節 一般文具等消耗品費

0

陽画等印刷製本費

0

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

深沢地域整備事業

【 深沢地域整備課 】

※重点事業(事業CD:5-2-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 市街地整備
 施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 鎌倉駅周辺、大船駅周辺と並ぶ第三の都市拠点の形成を図るため。

効果 全市的な課題や少子高齢化社会に対応したまちづくりが実現する。

【 事業の内容 】

- ・ 土地区画整理事業に係る関係機関調整をはじめ、権利者の換地・補償といった将来設計の立案に係る助言など、土地区画整理事業の専門家の技術支援を受けるとともに、社会経済状況等の変化に伴う事業スキーム(民活市施行)の再構築、事業費縮減方策の検討、土地利用計画(案)の精査等を行った。
- ・ B用地の一部で土壤汚染対策処理等を行った。
- ・ 事業区域内の市有地(A・C用地ほか)について、地歴調査業務を行うとともに、土壤汚染状況調査業務等を実施した結果、A用地の一部で汚染が判明したため、ブルーシート等を設置し、飛散防止等の対策を行った。
- ・ 既に取得した用地の管理を行った。
- ・ 「湘南地区整備連絡協議会」の運営を行った。
- ・ 村岡・深沢地区拠点づくり検討調査事業に係る経費については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・ 市街地整備についての情報収集を行うため、市街地整備促進協議会に参加した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
208,619	170,692	127,803	6,000	36,889
主な支出内訳				
1節	民間等事業者選定委員会委員報酬			0
	土地区画整理審議会委員・評価員等報酬			0
	事務補助嘱託員報酬 1人			1,028
8節	技術アドバイザー報償費			17
9節	事務補助嘱託員費用弁償			60
11節	一般文具等消耗品費			436
	陽画等印刷製本費			0
13節	深沢地区土地区画整理事業調査設計業務委託料			0
	地区整備計画素案等作成業務委託料			0
	深沢地区土地区画整理事業推進支援業務(その1)委託料			17,280
	深沢地区土地区画整理事業推進支援業務(その2)委託料			13,901
	事業用地(B用地)土壤汚染対策処理等業務(その1)委託料			1,728
	事業用地(B用地)土壤汚染対策処理等業務(その2)委託料			77,436
	事業区域内市有地地歴調査業務委託料			499
	事業用地(A・C用地)土壤汚染状況調査業務委託料			11,642
	事業用地(A用地)地下水調査業務委託料			145
	事業用地(A用地)汚染土壤飛散防止等対策処理業務委託料			1,216

	深沢地域取得済用地管理業務(その1)委託料	1,382
	深沢地域取得済用地管理業務(その2)委託料	223
	深沢地域取得済用地管理業務(その3)委託料	216
	深沢地域取得済用地管理業務(その4)委託料	444
19節	湘南地区整備連絡協議会負担金	100
	村岡・深沢地区拠点づくり検討調査負担金(翌年度への繰越明許費)	0
	市街地整備促進協議会負担金	50

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

大船駅周辺整備事業

【

再開発課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 大船駅周辺地区都市(まち)づくり基本構想に定める地区の将来像の実現に向けてまちづくりを進めていくため。

効果 ①商業拠点の形成と都市機能の強化による賑わいのあるまち②優しさと快適さを備えた魅力ある都市環境を創造するまち③活力に溢れ暮らしに文化の香りただよまちを創造する。

【 事業の内容 】

- ・ 砂押川桜保全再生計画に基づく、住民主体の保全再生活動の支援を行った。
- ・ 事業の推進に必要な資料作成等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,743	1,743	1,354		389
主な支出内訳				
1節	事務補助嘱託員報酬 1人			1,028
8節	鎌倉芸術館周辺地区まちづくり活動支援専門員謝礼			12
	まちづくり協議会(3地区)専門員謝礼			0
9節	事務補助嘱託員費用弁償			37
11節	鎌倉芸術館周辺地区まちづくり活動支援消耗品費			0
	一般文具等消耗品費			7
	陽画等印刷製本費			0
13節	砂押川プロムナード枯枝胴ぶき等伐採処分業務委託料			270

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

大船駅西口整備事業

再開発課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 大船駅西口の円滑な交通機能の確保、市民等の利便性と安全性の向上を図るため。

効果 大船駅西口の課題の解決により、歩行者との車両分離による安全性と快適性の確保が図れる。

【 事業の内容 】

- ・都市計画道路阿久和鎌倉線の整備を図るため、関係機関協議を進めた。
- ・事業の推進に必要な資料作成等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
32	32	0		32
主な支出内訳				
11節 一般文具等消耗品費				0
陽画等印刷製本費				0

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

大船駅東口再開発事業特別会計繰出金

再開発課

【 事業の内容 】

- ・大船駅東口再開発事業特別会計への繰出金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
170,491	92,009	92,009		0
主な支出内訳				
28節 繰出金				92,009

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

岡本二丁目用地活用事業

【 まちづくり政策課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 岡本二丁目用地の有効活用に向けた基本的な方向性を定めるため。

効果 健康・福祉・子育て・青少年などに関する行政課題に対応した土地利用を実現する。

【 事業の内容 】

- ・ 岡本二丁目用地活用基本計画等策定業務を委託し、岡本二丁目用地活用基本計画を策定した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
0	2,916	2,916		0

主な支出内訳

13節 岡本二丁目用地活用基本計画等策定業務委託料 2,916

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎総合交通 ○道路・交通体系の検討

交通環境整備事業

【 交通計画課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 道路・交通体系の検討

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 公共交通機関における利便性の向上を図るとともに、慢性化する交通渋滞の解消や交通事故の減少を図る。

【 事業の内容 】

- ・市内の交通量を把握し交通対策上の基礎資料とするため、市内主要交差点等において、一般交通量及び渋滞状況調査並びに資料収集を行った。
- ・「パークアンドライド」及び「鎌倉フリー環境手形」について、交通関係事業者と調整を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,515	3,515	2,683		832
主な支出内訳				
11節 渋滞統計システム関連消耗品費				774
消耗品費				107
印刷製本費				337
パークアンドライド案内看板等維持修繕料				88
13節 交通量調査業務委託料				1,166
19節 三浦半島地域広域幹線道路整備促進期成同盟等負担金				211

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎総合交通 ○道路・交通体系の検討

交通体系整備事業

【

交通計画課

】

※重点事業(事業CD:5-3-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 道路・交通体系の検討

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくり出すため。

効果 公共交通機関における利便性の向上を図るとともに、慢性化する交通渋滞の解消や交通事故の減少を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉地域の休日の交通渋滞を解消するために、市民・交通事業者・関係行政機関等で構成する「鎌倉市交通計画検討委員会」を開催し、市と地域住民・関係機関との協働による安全で快適な歩行環境の実現をめざすとともに、策定後経年した地区交通計画を検証した。
- ・ 平成25年度からの繰越明許費により、ゴールデンウィーク期間中の5月3日から5日の3日間、新規循環バスの交通社会実験を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,519	16,958	14,971		1,987

主な支出内訳

1節	交通計画検討委員会委員報酬 23人			445
8節	交通政策専門員謝礼			0
9節	交通計画検討委員会委員費用弁償			0
13節	鎌倉地域地区交通計画策定支援業務委託料			8,219
	平成26年度鎌倉市交通需要管理検討業務委託料			1,868
	交通社会実験実施事業委託料(前年度からの繰越明許費)			4,439

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

国県道対策運営事務

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 都市計画法、道路法等に基づき国県道の整備・改良を促進し、良好な道路交通機能等の向上を達成するため。

効果 交通渋滞の緩和、災害時を含む緊急活動の円滑化を図る。

【 事業の内容 】

- ・小袋谷跨線橋の架け替えを含む腰越大船線事業に関する協議・調整を行った。
- ・国・県等が施工する都市計画道路等に関する協議・調整を行った。
- ・供用中の国・県道に関する住民要望に対応した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,188	1,188	1,174		14
主な支出内訳				
1節 事務補助嘱託員報酬 1人				1,028
9節 事務補助嘱託員費用弁償				43
11節 消耗品費				23
19節 首都圏中央連絡道路建設促進期成同盟会負担金				40
関東国道協会負担金				40

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

国県道対策事業

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業の促進を図るため。

効果 神奈川県及び市民等との連絡調整を行うことにより、都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業の円滑な実施を図る。

【 事業の内容 】

・都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業に伴う事務事業の円滑な執行を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26	26	26		0

主な支出内訳

11節 一般文具等消耗品費

26

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路整備計画等運営事務

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路網の整備を図ることにより、都市環境の改善に寄与するため。

効果 交通の円滑化、安全の確保等、交通環境の向上及び都市景観等の生活環境の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 神奈川県都市計画街路事業促進協議会に加入し、その活動により都市計画道路の整備のあり方について検討を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
52	52	52		0

主な支出内訳

19節 神奈川県都市計画街路事業促進協議会負担金 52

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

街路樹維持管理事業

【 公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 街路樹の適度な生育等を促し、緑豊かな道路空間の形成とまち並みを整え、市民との協働により適切な管理を行うため。

効果 まち並みを整えるとともに潤いある道路空間を提供し、公園緑地等と連携したみどりのネットワークの形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・街路樹を市民自らが守り育てる活動を行っている街路樹愛護会を支援するため、報償金の支給や花苗の配布を行った。
- ・街路樹の維持管理を委託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
17,460	17,460	15,504		1,956

主な支出内訳

8節 街路樹愛護会報償費 21団体	1,350
11節 消耗品費	612
13節 大船駅東口花壇維持管理委託料	836
街路樹維持管理委託料	12,257
〔 荏柄天神街路外56路線除草19,130㎡ 低木刈込8,210㎡ 〕	
〔 市役所前街路外17路線 冬期剪定666本外 〕	
街路樹植替委託料	449

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

環境部環境保全課(環境保全担当)
まちづくり景観部のうち都市計画課・交通計画課・都市景観課・みどり課
岡本二丁目用地活用担当
都市調整部都市調整課(風致担当)
都市整備部のうち道路課(国県道対策担当)・公園課
拠点整備部(再開発課拠点整備総務担当及び再開発担当を除く)

【 職員給与費 】

(単位:千円)

主な支出内訳

職員給与費	480,100
・ 2節 給料 一般職	222,020
一般職職員 60人	
・ 3節 職員手当等	184,776
扶養手当	7,233
地域手当	32,739
通勤手当	6,800
超過勤務手当	15,567
休日給	338
管理職手当	11,666
特殊勤務手当	1
期末勤勉手当	94,848
住居手当	11,779
管理職員特別勤務手当	175
児童手当	3,630
・ 4節 共済費	73,304
市町村職員共済組合負担金	

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 15 公共下水道費
 ◎下水道・河川 ○下水道の整備・管理

下水道事業特別会計繰出金	【 都市整備総務課 】
---------------------	-------------

【 事業の内容 】
 ・ 下水道事業特別会計への繰出金を支出した。

【 事業費 】 (単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,226,465	2,140,532	2,140,532		0

主な予算内訳		
28節 繰出金		2,140,532

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 20 公園費

◎みどり ○都市公園等の整備・管理

公園運営事業

【 公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園等の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な整備を図るため。

効果 公園緑地等の良好な環境の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 散在ガ池森林公園、鎌倉広町緑地に都市公園等緑化推進専門委員を配置し、樹木育成調査及び樹木病虫害防止の調査を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
238	238	238		0

主な支出内訳

1節	都市公園等緑化推進専門委員報酬 2人	136
19節	全国都市公園整備促進協議会負担金	42
	神奈川県公園緑地行政連絡協議会負担金	10
	日本公園緑地協会負担金	50

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 20 公園費

◎みどり ○都市公園等の整備・管理

公園維持管理事業

【 公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園等の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な維持管理を図るため。

効果 適確な施設管理を行うことにより良質な公園の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 樹木剪定、草刈、小規模な修繕など良好な公園の維持管理を図るための業務を指定管理者に委託した。
- ・ 経年劣化により撤去した遊具などの交換及び市民要望による公園施設の設置等を行い、より市民ニーズに対応した公園の創造を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
278,810	278,810	276,684		2,126
主な支出内訳				
11節 消耗品費				515
維持修繕料				11,566
(笹田公園野球場ダッグアウト等塗装、源氏山公園舗装外)				
12節 ボランティア保険料				15
13節 都市公園(笹田公園を除く)指定管理料((公財)鎌倉市公園協会)				202,433
都市公園(笹田公園)指定管理料(三菱電機ライフサービス(株)湘南支社)				22,983
児童遊園等管理委託料				9,893
公園維持管理委託料(田辺公園外)				1,643
14節 児童遊園等土地賃借料(ふじみ児童遊園、山崎子どもの広場外)				24,042
梶原六本松公園土地賃借料				3,594
19節 指定管理者リスク分担金(笹田公園を除く)				0
指定管理者リスク分担金(笹田公園)				0

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 20 公園費

◎みどり ○都市公園等の整備・管理

公園整備事業

公園課

※重点事業(事業CD:3-1-2-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園等の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な整備を図るため。

効果 公園緑地等の良好な環境の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉広町緑地の供用開始に向けて、施設整備工事等を行った。
- ・ (仮称)山崎・台峯緑地等の供用開始に向けて、樹林管理等を行った。
- ・ (仮称) 笹田一丁目公園の供用開始に向けて、実施設計の策定等を行った。
- ・ いわせ下関青少年広場を防災公園として整備することに伴い、隣接する市道等の整備を行った。
- ・ 前年度から事故繰越した、(仮称)山崎・台峯緑地実施設計等策定業務委託を行った。
- ・ 前年度から事故繰越した、鎌倉広町緑地施設整備工事を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
195,569	281,577	260,070		21,507
主な支出内訳				
1節	鎌倉広町緑地指定管理者選定委員会委員報酬 5人			156
11節	消耗品費			1,117
	印刷製本費			170
12節	ボランティア保険料			50
13節	鎌倉広町緑地再評価業務委託料			0
	鎌倉広町緑地整備工事監理委託料			2,592
	(仮称) 笹田一丁目公園実施設計等策定業務委託料			3,002
	都市公園等整備事業用地樹林管理業務等委託料			12,695
	鎌倉広町緑地災害賠償査定調査業務委託料			585
	(仮称) 山崎・台峯緑地(公園)実施設計等策定業務委託料 (前年度からの事故繰越し)			22,660
15節	鎌倉広町緑地整備工事請負費			150,566
	岩瀬下関防災公園市道付帯工事請負費			3,510
	鎌倉広町緑地整備工事請負費(前年度からの事故繰越し)			62,297
22節	都市公園予定地等に関する賠償金			670
主な特定財源				
	・国県支出金			132,200
	・地方債			61,000

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 20 公園費

◎みどり ○都市公園等の整備・管理

公園用地取得事業

公園課

※重点事業(事業CD:3-1-2-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
 分野 みどり
 施策の方針 都市公園等の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な整備を図るため。

効果 公園緑地等の良好な環境の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉広町緑地、(仮称)山崎・台峯緑地、(仮称)山ノ内宮下小路2号緑地、(仮称)笛田一丁目公園用地を取得し、早期開園を目指した。
- ・ いわせ下関青少年広場を防災公園として整備するため、独立行政法人都市再生機構による防災公園街区整備事業を進めた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,301,322	1,301,322	1,201,479		99,843
主な支出内訳				
11節 消耗品費				101
印刷製本費				181
光熱水費				40
13節 鎌倉広町緑地用地不動産鑑定評価業務委託料				864
(仮称)山崎・台峯緑地用地不動産鑑定評価業務委託料				756
(仮称)山ノ内宮下小路2号緑地用地不動産鑑定評価業務委託料				443
(仮称)笛田一丁目公園用地不動産鑑定評価業務委託料				214
(仮称)笛田一丁目公園用地測量等業務委託料				99
17節 鎌倉広町緑地用地購入費				373,500
(仮称)山崎・台峯緑地用地購入費				241,562
(仮称)山ノ内宮下小路2号緑地用地購入費				170,710
(仮称)笛田一丁目公園用地購入費				96,436
19節 独立行政法人都市再生機構事業負担金				316,573
主な特定財源				
・国県支出金				289,596
・地方債				721,400

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎住宅・住環境 ○鎌倉らしい住まいづくり

市営住宅管理運営事業

【 建築住宅課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 住宅・住環境

施策の方針 鎌倉らしい住まいづくり

【 事業の目的 】

対象 住宅に困窮している市民及び市営住宅入居者

意図 市営住宅の入居者選考を行うとともに、市営住宅建物の修繕等により適正な管理・運営を行うため。

効果 市営住宅入居の公平性及び入居者が安心して住める居住環境を確保する。

【 事業の内容 】

- ・市営住宅入居者選考委員会の開催など、市営住宅の運営に係る事務を行った。
- ・市営住宅の改修工事及び指定管理者による維持管理を行った。
- ・借り上げ住宅の賃借料の支払いを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
158,991	158,991	156,320		2,671
主な支出内訳				
1節 入居者選考委員報酬 5人				52
8節 市営住宅抽選会立会人謝礼				12
11節 消耗品費				79
印刷製本費				16
市営住宅各種維持修繕料				0
市営梶原東住宅第1号棟屋上防水修繕料				3,596
13節 公営住宅電算システム保守点検業務委託料				686
市営住宅等指定管理料				38,006
14節 公営住宅管理システム用機器等賃借料				674
福祉型借上市営住宅賃借料				94,542
15節 市営梶原住宅第1号棟外壁等改修工事請負費				18,630
19節 市営住宅管理費等負担金				17
22節 地上デジタル放送電波障害補償金				10
主な特定財源				
・国県支出金				8,856

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎住宅・住環境 ○鎌倉らしい住まいづくり

住宅政策推進事業

【 建築住宅課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 住宅・住環境

施策の方針 鎌倉らしい住まいづくり

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 若年ファミリー層の転入促進と転出抑制、高齢者・障害者等が暮らし続けることができる住宅施策を推進し、安心して住むことができる環境を整える。

効果 人口の年齢構成バランスに配慮した住まいづくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・住宅マスタープランに掲げる住宅施策の検討を行った。
- ・高齢者、障害者及び子育て世帯の民間賃貸住宅への入居の支援を行った。
- ・住宅の小規模改修工事への助成を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,454	3,454	3,114		340
主な支出内訳				
8節 住宅政策アドバイザー報償費				45
13節 あんしん賃貸支援事業による入居支援業務委託料				319
19節 住宅リフォーム補助金				2,750
主な特定財源				
・国県支出金				906

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

都市整備部建築住宅課(住宅担当)

【 職員給与費 】

(単位:千円)

主な支出内訳	
職員給与費	33,320
・ 2節 給料 一般職	15,413
一般職職員 4人	
・ 3節 職員手当等	12,515
扶養手当	587
地域手当	2,286
通勤手当	395
超過勤務手当	839
休日給	22
管理職手当	928
特殊勤務手当	4
期末勤勉手当	6,516
住居手当	713
管理職員特別勤務手当	0
児童手当	225
・ 4節 共済費	5,392
市町村職員共済組合負担金	